

特集 令和2年度 大学入試結果 及び 就職実績 (全日制)

愛知県立大学、三重大学、静岡大学など国公立大学13名、
 私立大学にも南山大学や愛知大学をはじめ、343名が合格！
 就職希望者については100%を実現。



国公立四大・短大	私立四大	就職
愛知県立大学 (2) 三重大学 静岡大学 (2) 富山大学 島根大学 室蘭工業大学 静岡文化芸術大学 富山県立大学 公立小松大学 島根県立大学 宮崎公立大学 計13名	愛知大学 (31) 愛知学院大学 (41) 愛知工業大学 (16) 愛知淑徳大学 (37) 近畿大学 金城学院大学 (8) 至学館大学 (2) 椋山女学園大学 (16) 大同大学 (10) 中京大学 (24) 中部大学 (16) 東海学園大学 (19) 南山大学 (11) 日本大学 (13) 日本福祉大学 (18) 名城大学 (2) 龍谷大学 (2) 他 計343名	愛三工業 (株) (2) アイシンエイダブリュ (株) (2) アイシン機工 (株) アイシン精機 (株) (6) アイシン辰栄 (株) (6) 愛知県中央信用組合 あいち中央農業協同組合 (2) アンデン (株) (2) 井上メッキ工業 (株) エヌティー精密 (株) (2) 太田商事 (株) (株) 旭工業所 (株) アドヴィックス (2) (株) 石川精工 (株) おとうふ工房いしかわ (株) キャラック (株) クラタ (株) 三秀プレジジョン (株) サーテックカリヤ (株) 祥紀 (株) シンダイ (2) (株) 杉浦製作所 (株) デンソー (2) (株) デンソーエアシステムズ (2) (株) 永坂会計事務所 (2) (株) へきなん動物病院 (株) ミュゼプラチナム (株) ヤマコ (株) LIXIL LWT Japan キッチンコールドヘッター (株) 警視庁 小林クリエイト (株) 栄屋乳業 (株) 社会福祉法人昭徳会 杉浦医院 杉国工業 (株) スギ製菓 (株) 杉友 (株) 税理士法人 felicia 全国酪農飼料 (株) 東海工場 タケシタミート 中部建築 (株) 中扉スプリング (株) (2) トヨタ自動車 (株) (2) トーエイ (株) 日本製鉄 (株) 名古屋製鐵所 日本郵便 (株) 東海支社 (2) フジパン (株) 丸藤精工 (株) メイテックス (株) 山崎製パン (株) (有) ドルフィンスイミングスクール
	専門学校	
	県立愛知看護専門学校 (3) 更生看護専門学校 (2) 西尾市立看護専門学校 安城碧海看護専門学校 (9) 半田常滑看護専門学校 (4) 中部労災看護専門学校 西尾医師会准看護学校 他 計81名	

特集 未来につながる 社会とつながる 総合ビジネス科の授業

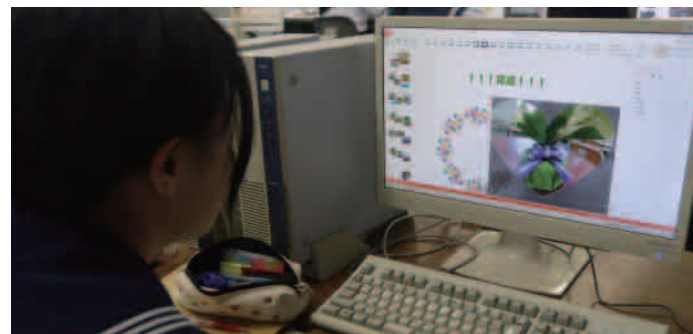
総合ビジネス科3年生「課題研究」の取り組み

総合ビジネス科3年生の授業「課題研究」は、5つの講座に分かれ、実習を中心に1年間学んでいます。多くの地元企業の協力のもと、新商品の開発、レストランでの接客、ワークショップや販売、CM製作など、実践的で幅広い活動に挑戦しています。碧南で歴史を重ねる碧南高校の「総合ビジネス科」だからこそできる取り組みです。



商品開発講座

地元企業と提携し、実際に商品を開発しています。販売活動などもしています。



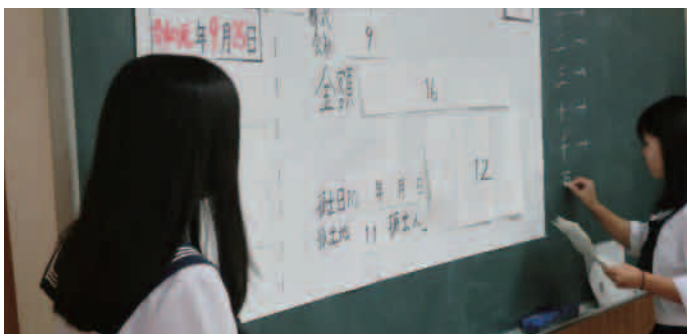
カラーコーディネート活用講座

ラッピング技術、Webデザインなど物作りから販売を通して、色がどのように影響するのかを学習します。



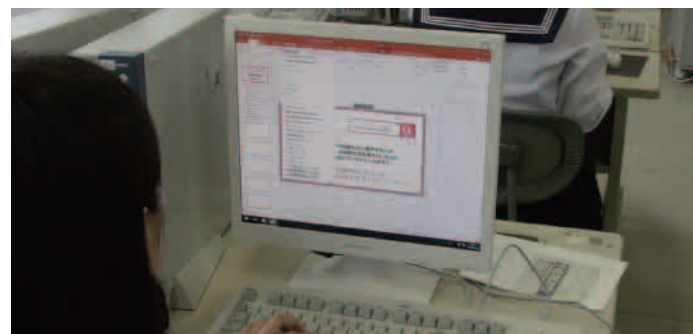
ビジネスマナー講座

社会でのマナー・礼の仕方・書類の渡し方・挨拶・言葉遣い・態度などを身に付けていきます。



トータルプロデュース講座

碧南高校のPR活動を行っています。各種のイベントへの参加、中学校への出前授業などを実施しています。



マルチメディア講座

複数のメディア(ビデオ・写真・ホームページなど)を活用し、映像編集技術を学んでいます。

校長コラム 第6回

「今年の春を十分に味わいましたか？」

校長 伊豫田 祥子

令和2年度がようやく始まりました。学校再開というよりも再会を喜び合う姿に精神の健康を感じます。毎日登校する、週末にも試合や発表会がある、といった日常が、実はあり難い(当たり前にあるわけではない)ことだったのだと思い知らされました。

長引く臨時休業に、先生方は授業のできないもどかしさを募らせていました。オンライン学習支援がどれほど充実していたとしても、学校はやはり集うところです。時と場を共有し、顔を合わせて語り合い、時には摩擦を生みながらも譲ったり主張したりして社会性を高度に身につけていくところ、今の苦しみを確認しあひながら将来の夢を育むところ、それが学校なのだ、改めて思います。

中学生体験入学は、感染拡大予防と授業の補充により例年どおりにはできないため、碧南高校では秋に「説明・一部体験」の会を実施します。夏に案内を差し上げます。いらしてください。

新型コロナウイルス感染症について、科学的な解明が少しずつ進んでいるようです。「正しく恐れる」ことが大切だと言われます。科学的根拠のないデマや迷信に振り回されてはいませんか。「イワシの頭」(イワシと柵を玄関先に飾って魔除けにする風習)と同じように、それで気持ちが落ち着くのなら信心していてもかまわないでしょうけれど、「アマビエ」が感染予防に効くとは科学的にも歴史的にも認められていません。

Stay Homeと言われた期間も私たちの命や暮らしを支えるために現場で働く人々を、私たちはどれほど支えられたでしょうか。指示されたことを実行するにとどまり、それ以上のことはできていないと反省しています。皆さんは、医療や介護のスタッフ、発症者の家族、活動ができなくなった職場の人たちを温かい気持ちで

応援し、何らかの方法で伝えましたか。

感染症との付き合いは長い期間になるだろうと専門家は言っています。友達付き合いも体は少し離し、ネット上のつながりが多くなるのでしょうか。しかし、どんなに変わっても人間は自然と文化の中に生まれ育つ生き物です。画面に映る絶景に感嘆しながらも、ありふれた街路樹の新緑や匂いに初夏の訪れを肌で感じ、自分が生きていることを実感するのは、人間が自然の一部であるからではないでしょうか。

この春は、耐えることが多くあったように思います。考えることも多くありました。そんな春もあるんですね。それにしても、古代から近代の哲学者たちはこれらのことととくに考察をめぐらしていました。古典は過去に生きた人の記述なのに、未来に生きている、不思議な魅力を持っています。読み込んで、皆さんと一緒に語り合いたいものです。